

無料 (ご自由にお持ち帰り下さい)

編集・発行／茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121

ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>

2017年
Vol.28

ほっとタイムズ

病院長メッセージ

「地域医療構想で高度急性期・急性期医療を担う茨城県立中央病院」

教えてドクターQ&A タバコと健康



放射線治療センタースタッフ

特集『放射線治療センター』.....2～3

ドクター紹介 5

膠原病・リウマチ科 部長 後藤 大輔

膠原病・リウマチ科 医長 高野 洋平

各科各部紹介 5

第14回 診療情報室

トピックス 6

総合学習リポート

第95回ふれあいコンサート

ご意見箱から

トピックス 7

JICA報告～青年海外協力隊員としての活動～

新人看護師のフォローアップ研修

連携医療機関ご紹介 8～9

いいたけ内科クリニック／かさの内科医院

ウスイ歯科クリニック

医療法人社団慶仁会 うつぎざき歯科医院

地域連携だより 各診療科のご紹介 10

神経内科

～最前線の放射線治療と新・放射

この度当院に新・放射線治療センターを開設いたしました。当院では放射線治療センター長の玉木義雄医師を中心に最新の放射線治療が行われています。そこで最新の放射線治療のことや新・放射線治療センターについて玉木義雄医師と放射線技術科 生駒英明放射線技師のお二人にお話をお伺いしました。



放射線治療センター センター長
たまき よしお
玉木 義雄 医師

Q. この度新・放射線治療センターを開設されましたが、改築にあたり一番こだわった点はどこですか。

玉木義雄医師（以下、玉木） 茨城県立中央病院の放射線治療センターは平成21年4月に開設され、平成28年12月に大規模な改築を行い、今年の8月から最新の治療装置が稼働しました。今回の改築にあたっては、患者様がリラックスして治療を受けられるように、診察室はゆったりとした広さを確保し、新しい治療室の天井と壁にはスカイシーリングやバーチャルウィンドウを採用しました。スカイシーリングは、病院などの建築物の中に大自然の雰囲気を感じられる環境を作り出すことで、人が本来持つ治癒力を引き出すことができるという「バイオフィリア・デザイン」に基づくものです。単なるバックライト写真ではなく、人の認知機能に働きかけるリラクゼーション効果があることが科学的に証明された写真です。

Q. リラクゼーション設備を取り入れるなど患者様を第一に考えた施設になっているのですね。では放射線治療についてもお聞かせください。

玉木 放射線治療の魅力は、がんを切らずに臓器の機能や形態を維持したまま治療できる事です。また、治せない場合でも、がんによる痛みや苦痛を軽減することができます。大部分のがんや一部の良性疾患に放射線治療が行われています。ご自身の病気が放射線治療に向いているかどうかは、担当医を通して放射線治療専門医に相談してください。

Q. では当院における放射線治療センターの現状を教えてください。

玉木 当院の放射線治療患者数は、1日に50～70名、年間で500名以上です。腫瘍の形に合わせて放射線を集中できる強度変調放射線治療（IMRT）と呼ばれる高精度な治療も積極的に導入しています。昨年度は約130名にIMRTを行いました。県内ではトップクラスの件数でした。

Q. それから、当院で取り入れている最新の放射線治療と放射線治療センターの今後の展望についても聞かせください。

玉木 IMRTの主な対象疾患は、前立腺がん、耳鼻科領域のがん、婦人科がんですが、新装置の導入に伴い肺がんや食道がんにも適応を拡大しています。また、新しい治療装置には、体内で動く病巣に対して、病巣の近くにあらかじめ埋め込んだ金属マーカを指標として、正確に放射線を当てることのできる定位放射線治療システムを導入しました。このシステムを用いて、小さな肺がんや肝臓がんに対して、これまで以上に正確な定位放射線治療を提供できると考えています。

Q. それでは読者の皆様へメッセージをお願いします。

玉木 このように、当センターでは最先端の放射線治療が実施できる環境が整い、多くの熟練したスタッフとともに、各診療科と密接に連携し診療に取り組んでいます。今後も、皆様に信頼される安全で質の高い放射線治療を提供できるように努力してまいります。



最新治療装置の新リニアック



ゆったりとした広さを確保した診察室



大きなモニターも設置。カンファレンス室

線治療センター開設のご案内～



放射線技術科
いこま ひであき
生駒 英明 放射線技師

Q. 新しくなった放射線治療センターについて教えてください。

生駒英明放射線技師（以下、生駒） 患者さんだけでなく、職員でさえ迷う(笑)病院の一番奥に放射線治療センターがあります。新センターは昨年末に増改築され、新しい照射室のほか、ベッドのまま入室できる診察室を6(うち、2室は婦人科用及び頭頸用)、そして、開放感のある受付と待合室、アクセスフリーの治療計画室やカンファレンス室、さらに相談室、品質管理室が設けられました。センター南側通路は、陽射しを十二分に取り込むほどの大きな窓が並行して開口し、お天気の日中は照明が不要なほど明るい光に包み込まれます。また、扉や床には明るい色を配し、視覚に映り込むピクトグラム※やナンバリングなど、さまざまな工夫がなされています。カンファレンス室は大きなモニタ及びスクリーン、情報系端末が設置され、フルデジタルな研修会や勉強会も可能で、利用された方に好評です。

Q. 本当に明るく開放感にあふれたつくりになっていて、本来の病院のイメージとはだいぶ違いますね。

生駒 そうなんです。新しい放射線治療センターは、これまでの放射線治療のイメージ（他施設では地下にあることが多いんです。）を覆すあたたかなエリアになっています。足を踏み入れたことのない方も沢山いると思います。一度来て、利用してください。「病院の片隅に、こんな近未来的な場所があったのか!」と驚くこと必定です。

Q. 放射線治療センターのスタッフ構成はどのようになっていますか。

生駒 医師4名、診療放射線技師8名、医学物理士2名、看護師4名、受付1名の計19名が在籍しております。

Q. この度最新の治療装置を導入したとのことですが、どのようなものなのか教えてください。

生駒 新センターの目玉となる新リニアックは、7段階のX線と8段階の電子線を発する最高仕様です。また、国内（というより世界で）4施設目となる動体追跡システムが付属します。本システムは肺や上腹部等、呼吸移動によって動きが大きな部位の腫瘍に対して直接検知し、「今ここ!」に照射することができます。さらに、既存のリニアック（リニアック1）には新しい脳定位照射システムが設置されました。

Q. これからもますます放射線治療センターへの期待が高まりますね。

生駒 これら機器の整備により、現在行われている治療はもちろん、近い将来行われていく治療にも十分に対応できる環境が整い、これまで以上に患者様および診療科の期待にお応えできる品質が担保できると思います。また、子宮頸がん治療を主に行う密封小線源治療（RALS）の件数も、国内で上位を誇ります。今後も放射線治療件数は増加し、高精度化することが予想されます。県内唯一の都道府県がん診療連携拠点病院の名に恥じないよう、その技術をみなさまに還元したいと思います。

※ピクトグラム

一般に「絵文字」「絵単語」などと呼ばれ、何らかの情報や注意を示すために表示される視覚記号（サイン）の一つ



大きな窓から明るい日差しがこぼれる
センター南側通路



新リニアック機器の天井に設置された
スカイシーリング



治療室に向かう廊下に飾られた
バーチャルウインドウ

タバコと健康



教えてドクター

Q&A

Q：タバコが体に及ぼす影響とはどんなものですか。また受動喫煙についても教えてください。

A：タバコに含まれるニコチンにより依存症になり、発がん物質によりがんになりやすくなり、一酸化炭素により血液が固まりやすくなります。肺の組織が壊れ、肺気腫という病気になります。受動喫煙でも同様の病気になります。我が国では毎年13万人がタバコのために命を落としており、受動喫煙でも15,000人が命を落としています。



Q：長年喫煙をしています、今から禁煙しても効果はありますか。

A：英国の50年以上にわたる調査では、喫煙者は非喫煙者と比較して、10年寿命が縮まると言われています。30歳まで禁煙すると寿命の短縮がほぼなくなります。40歳までに禁煙すると短縮が1年、50歳までに禁煙すると3年程度になります。70歳までに禁煙すると90歳まで生きる率が高まります。また、禁煙した瞬間から脳卒中や心筋梗塞のリスクが減ります。そして、周囲の人の受動喫煙がなくなります。

Q：禁煙のための治療法を教えてください。

A：ニコチンガムやニコチンパッチ（貼り薬）、バレニクリンという飲み薬を使用すると、楽に禁煙できます。ニコチンガムとパッチは薬局で直接購入できます。

本数を減らすという方法は、タバコに対する未練が残り、禁煙に結びつきません。禁煙する目的をはっきりさせて、日にちを決めてきっぱり止めることが重要です。



Q：何度か禁煙を試みましたが、意思が弱く続きません。禁煙を成功させるコツはありますか。

A：ほとんどの人が何度かの失敗を経て禁煙に成功しています。失敗した原因を思い起こして、同じ失敗を繰り返さないようにすることです。七転び八起きで、何度でも挑戦しましょう。禁煙しにくい人は、「ニコチン依存症」という病気の可能性が高く、病院・診療所・薬局などでサポートを受けることをお勧めします。



天貝先生から
ひとこと

消化器内科 部長
あまが い けん じ
天貝 賢二 先生

最近、煙がでないという加熱式タバコが流行しています。従来のタバコに比べて、有害成分が少ないようですが、ニコチンや発がん物質を含んでおり、病気になるリスク、周囲の人への受動喫煙のリスクがあります。ご自分のこと、周囲の人のことを大切に思うなら、どんなタバコも使用しないことが一番です。

ドクター紹介



膠原病・リウマチ科
部長
ごとう だいすけ
後藤 大輔

2010年4月に当院に赴任した時には、当科の常勤医は私一人で、ローテーションする研修医の先生と二人でやっていましたが、2011年以降は常勤医2名体制となり、さらに今年からは当科専属の後期研修医の先生も加わり、徐々に科としての体制も整いつつあります。今後は、関節超音波検査を定期的に行える体制を作るなど、さらなる診療の充実を目指したいと思っています。

現在の正式な身分が筑波大学の教員ということで、週1日の大学病院での勤務など、大学から幾つかの業務が指示され、不在となることもあります。当科のスタッフにサポートしてもらいながら何とかやっています。



膠原病・リウマチ科
医長
たかの ようへい
高野 洋平

前任の廣田医師に代わり、2012年4月より当院に赴任し、早5年以上の月日が経ちました。2017年4月から当科は常勤医師が3人に増員され、幅の広い入院診療が可能になったと同時に、より努力を要する診療状況となったとも自覚しております。

膠原病・リウマチ科は「免疫」という、患者様には目で見えづらい疾患を扱う診療を行っており、患者様には理解が難しい所がいっぱいあると思います。それは我々も同様であり、その中で検査結果も重要な位置を占めます。患者様と一緒に病気・検査結果を理解し、より良い治療をともに考える診療を継続して行きたいと思っています。

各科各部紹介 第14回 診療情報室

診療情報室は、事務局の企画情報室内に属し、診療録と診療情報の管理・分析に関する業務を行っています。室員9名のうち診療情報管理士は7名です。診療情報管理士は常に診療記録からさまざまな情報を把握し、事実に基づいた記録の確認を行っています。

平成28年6月から診療録管理体制加算1を取得し、正職員も増え、より精度ある診療情報の管理が求められています。正確な疾病コーディングや院内がん登録を実施することは勿論のこと、診療情報（医事情報、DPC、がん登録等）を活用し、医療の質や病院運営に資するデータ提供や分析を実施しております。また医師や看護師、各部署から依頼のデータ集計等や手術症例数、各種新聞社のアンケート調査にも対応しています。パソコン業務のためパソコン用の眼鏡をかけるなど眼の健康に気を遣うようにしています。診療情報室は本館2階の図書室奥に位置しておりますので、御用の際はお気軽にお声かけください！



「いのちの始まりから今の僕たち・わたし達、そして未来へ」

毎年授業の一環として友部小学校の5年生を対象に当院にて総合学習が行われています。今年も『いのちを守る大切なしくみ』と『高齢者を理解する』の2つのテーマについて学習しました。“血圧ってなんだろう？熱や痛みが教えてくれる大切なサインとは？老化に伴う変化ってどうゆうこと？”など自分たちの身体(いのち)についてデモンストレーションや体験を交え元気いっぱいの小学生の皆さんと楽しく授業を行いました。なんでも柔軟に吸収する子供たち。この体験が子供たちの健やかな成長の一環となればこんなにうれしいことはありません。当院では今後も医療教育を通じ、いのちや医療への関心を高める活動をしていきたいと思ひます。



第95回ふれあいコンサート

ソラマメール ハートフルコンサートin Autumn



10月17日に当院1階レストランホールにて中田由紀乃さん(フルート)河崎智恵さん(オーボエ)笹島陽子さん(ピアノ)3人の演奏によるハートフルコンサートが行われました。当日は演奏を楽しみにいらっしゃった方でレストランホールは満員！3人の人気の高さが伺えました。『荒城の月によるファンタジア』や『もののけ姫』など、深まる秋の夜に素敵な演奏とうつくしい音色を皆さんと楽しみました。

ご意見箱から

- 各フロアにバスの時刻表を掲示して欲しい。
- 現在、正面出入り口横のラックに病院発・友部駅発のバス時刻表の案内パンフレットを置いてございますが、案内に対し配慮が足りず申し訳ございませんでした。ご指摘の通り、常時、時刻表を各階エレベーター付近に掲載する事といたしましたのでぜひご活用ください。
- 4中病棟の食堂について。テーブル2台×3セット(それぞれに椅子4脚)置いてありますが、テーブル間のスペースが70～80cmしかなく、しかも椅子の幅が50cmなので狭くて充分な利用が出来なくなっています。セットしてある椅子が全て使えるよう改善を提案します。
- 早速、テーブル2台の撤去と冷蔵庫の移動、レイアウト変更を行い、以前に比べ間隔を広くし使いやすかったです。貴重なご意見をありがとうございました。

茨城県立中央病院の看護師としてフィリピンで国際協力事業団（JICA）のボランティアプログラムに参加している金子昌裕看護師からの活動報告をご紹介します！

青年海外協力隊員としての活動

JICA青年海外協力隊 かね こ あき ひろ
茨城県国際親善大使 金子 昌裕

フィリピンのレイテ島
タクロバン市にある東ビ
サヤ国立地域医療セン
ターでボランティアとし
て活動しています。

現在はフィリピン病院
内の患者急変の際発令さ
れるコードブルーチーム
の立ち上げ、心肺蘇生の

手技の確認、全科救急カートの配置、感染対策・安全につな
がる5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を病院内でおこ
なっています。その他にも小学校に出向き歯磨き健康教室や災
害対策の絵本の読み聞かせなどの院外活動にも参加していま
す。

決して上手くいくことばかりではないですが、現地の人々に
助けられながらフィリピンライフを楽しんでいます。現地の文
化・習慣・宗教・生活を尊重し受け入れるということは、看護
師と患者様の関係にも似ていると感じる毎日です。

経済大国である日本と比べると金銭的には決して任地は裕福
とは言えませんが、みんな笑顔で助け合っているフィリピンの
人々を見ると果たして「Quality of life（生活の質）」はどちらの方
が豊かなのかということをいつも考えさせられます。

私も笑顔を絶やさずに残りの任期を現地の人たちと共に過
していきたいと思います。わたしが幸せであることが（タガロ
グ語で“マサヤ アコ”）周りを幸せにすると信じていますから。



救命救急チーム



ミニカンファレンス



子供たちに日本文化の紹介



フィリピンの島は自然が豊か

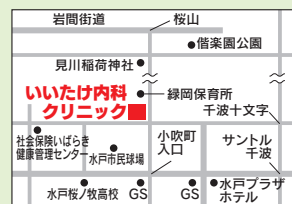
新人看護師のフォローアップ研修が行われました

新人看護師として当院に入職してからはや3ヶ月。慣れないながらも一生懸命看護師としての
仕事をする毎日ですが、3ヶ月の歩みを振り返り自己を見つめなおす研修の一環として7月に
『笠間工芸の丘』で陶芸に取り組みました。出来上がった作品はそれぞれに個性あふれ、素敵に
仕上がりました！大会議室に展示し、職員にも鑑賞いただき、優秀作品への投票も行いました。



連携医療機関のご紹介

院長 飯竹 一広



■休診日：水曜午後、土曜午後、日曜祝祭日

院長 笠野 哲夫

■休診日：木曜午後、土曜午後、日曜祝祭日

ここでは患者さまやご家族の日常的な治療や健康管理を考えてくれる、地域の身近で気軽に相談できるかかりつけ医である医療機関をご紹介します。

ウスイ歯科クリニック

院長 薄井 稔

当院は、平成4年9月1日に水戸市元吉田町に「ウスイ歯科クリニック」として開院致しました。地元出身ではありませんでしたので、多くの不安な気持ちと小さな希望が入り混じった心境だった事を覚えています。30代だったという事もあり、兎に角診療に全力投球で余裕のない状態でした。

歯科の患者さんは、0歳児から80代・90代迄幅広い方々が対象となりますので、全ての年代の皆さんに対応できるようにと心掛けて診療してきました。スタッフも徐々に入れ替わり、診療スタイルも多少変わりましたが、「患者さんの立場に立って、自分の家族を診るつもりで診療する」との気持ちで現在迄やってまいりました。

以前から、県立中央病院とは連携医として関係を深めて参りましたが、近年、癌治療における周術期口腔ケアが注目されており、癌治療中患者さんの口腔ケアの依頼が増えております。本年4月から県立中央病院に口腔外科が開設されましたが、1次医療機関として更に連携を深めていきたいと思っております。

当院は、常勤歯科医師1名、非常勤歯科医師3名、歯科衛生士4名で診療しておりますが、非常勤歯科医師には口腔外科認定医・歯科矯正科認定医もあり、より専門性を高めて対応しております。また、在宅や施設への訪問診療も実施しており、アットホームで、なんでも相談出来るようなホームドクターを目指しております。



■所在地：水戸市元吉田町1816-5

(パワーmarkt住吉店近く)

■電話：029-248-7164 (電話にて予約可)

■診療時間：午前/9:00～12:00 午後/14:30～19:00

■休診日：木曜、日曜、祝祭日。

祝日のある週は木曜日診療致します

医療法人社団慶仁会 うつぎざき歯科医院

院長 槍崎 慶二

水戸市大塚町のうつぎざき歯科医院です。赤塚駅から徒歩10分、ジョイフル山新赤塚店の近くにあります。当院はむし歯や歯周病の予防に力を入れています。ご自身によるご家庭でのセルフケアと歯科医院での定期的なプロフェッショナルケアとの両輪で、むし歯や歯周病は予防することができます。当院では、治療器具や治療材料など常により治療効果のあるものを取り入れ、治療レベルの向上を目指して、スタッフ一同日々研鑽しています。インプラント治療、薬の服用を併用した歯周病治療、噛み合わせ治療、床矯正治療、訪問診療なども行っています。また患者さんに安心して治療を受けていただけるよう感染対策には徹底して取り組んでいます。



■所在地：水戸市大塚町1863-29

■電話：029-255-1793

■診療時間：午前9:00～13:00 午後2:30～6:30

(診療受付：午前9:00～12:00 午後2:30～6:00)

■休診日：水曜、日曜、祝祭日

地域連携 だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、患者さまにおかれましても常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後とも宜しくお願いいたします。

各診療科のご紹介



神経内科

おぐに えいち
部長 小國 英一

地域連携に御協力いただく関連施設の諸先生並びに職員の方々には、御迷惑をお掛けすることが多く、この場を借りて先ずお詫び申し上げます。と言いますのも、早急な対応を宜しくお願いしますとの御依頼に十分対応できないでいる現状を熟知しているからです。

当神経内科は一人診療科として活動しており、総合診療科にお手伝い頂いて入院診療を実行しております。このため、急性発症の四肢の麻痺や意識障害といった入院を要する患者さんは、救急外来を通し総合診療科医師が担当医となり、内部コンサルテーションの形で神経所見評価並びに画像・機能検査の実施並びに評価を行っております。一方、諸先生方が当科に最も期待する、“現状の対応で良いものか判断に窮する”或いは“神経内科専門医でなければ手に負えない神経変性疾患であるか否か評価して欲しい”といった外来通院での新患患者診察には、多くの制限が生じております。

この問題を解決する一助として、紹介元の諸先生方に重ねてのお願いがあります。

1. 紹介状作成に際し、受診の目的を患者さんと共有し、明確にしてください。

未だに、当科受診理由を患者さんから聞くと、“とにかく中央病院へ行くよう言われました”との返事があり、実は診療希望が無い旨を長時間掛けた病歴聴取の後で判明し、病歴の詳細を聞かれる事をむしろ迷惑に感じている方もいらっしゃいました。

2. 患者さんの主訴を客観的な所見で御確認頂いた後に御紹介頂ければ幸いです。

“歩けなく為りました”との紹介状を携えて独歩で受診して来られる患者さんの対応は当科でも矢張り困難します。確認させて頂くと、また聞きしたような同様の家族から、“私は確かにそう聞きました”等半ば当方が非難される事も度々です。

3. 暫定診断で内服治療を開始した後の御紹介は御遠慮ください。

特にパーキンソン病を疑い、DOPA製剤を内服して紹介された場合、一旦内服を中止した後に所見を評価する必要があります。いきなり中止することのできないこれらの内服薬の整理のためにさらなる時間を要してしまいます。

この他、手続に御不明な点は予め医療連携室に問い合わせ頂き、依頼内容の難解な紹介状を持たせた直接来院を避けて頂き、潤沢な連携診療達成に御協力頂ければ幸いです。

—第11回—

「地域医療構想で高度急性期・ 急性期医療を担う 茨城県立中央病院」



茨城県立中央病院
茨城県地域がんセンター

よし かわ ひろ ゆき
病院長 吉川 裕之

「地域医療構想」とは一般の方には聞き慣れないと思いますが、医療関係者にとっては、この2、3年、さかんに地域で議論されてきた言葉です。今の日本の現状として深刻な少子化と、世界最高の長寿化（平成28年、男性80.98歳、女性87.14歳）による人口動態の変化は社会保障財政のバランスを大きく揺るがしています。また地方では人口減少も進行しています。そこで「地域医療構想」を推し進める一環として、高齢化による医療需要の増大に対して病床の機能（高度急性期機能、急性期機能、回復期機能、慢性期医療の他に在宅医療）の分化が求められています。そのため、今後団塊世代が後期高齢者になる2025年以降に備えて、医療提供体制を変えてゆこうと県や二次医療圏ごとに準備を進めているのです。県立中央病院では、救急、手術などを中心とする高度急性期医療・急性期医療を推進することが期待されております。そして、回復期医療や在宅医療は、周辺地域の病院・診療所と連携して進めていくことになってまいります。

私達を取り巻く現状をお話しますと、とりわけ日本は、世界で人口あたりの病院数、病床数が最も多い上に、入院期間も欧米と比べると2-3倍程度に長いのです。そのわりに日本はGDPあたりの医療費は低く抑えられ、費用対効果が良好とされてきたのですが、最近になってGDPあたりの医療費が上昇しつつあります。このままの状況が続きますと高齢者の比率がさらに上昇する日本では医療費が払いきれなくなる恐れがあります。そのため費用対効果を維持す

るには、急性期病床数の削減、平均在院日数の短縮、後発医薬品の使用促進が重要とされています。日本でもこの10年は次第に入院日数が減少し、外来治療が拡大しているので、入院受療率（入院して治療を受ける率）は年に2%程度低下を続けています。これをもっと加速させるために考えられたのが地域医療構想で、急性期病床を減少させつつ、一方で高齢化により不足する回復期病床（急性期医療の後にリハビリなどを行うための病床）を増やそうとしているのです（病床削減と病床転換）。

当院のように急性期医療を担う病院では、将来的には欧米のように同じ病床数で2倍程度の患者さんの治療を行う高回転医療への転換が求められるでしょう。在宅医療も発展させて、不必要な入院を削減することも考えなければなりません。終末期医療のあり方も、日本は特殊なようで、病院で亡くなることが多い上に、経口摂取困難になった場合にも経管栄養や経静脈栄養が行われることが少なくないのです。今後その是非についても議論されていくでしょう。また、高回転の医療には鏡視下手術・血管内治療などの低侵襲治療や手術・薬物療法の外来での施行が必要条件になってまいります。このような医療提供体制の変化が医療費の増大を抑制すると期待されていますが、医療機関の努力だけでなく、回復期医療専門の病院への転院などでは患者さまのご理解が必要になってまいります。患者さまにとって歓迎される医療を進めながら、地域医療構想を実現していこうと考えております。

～がん県民公開セミナー in つくばを開催～

10月28日(土)に筑波メディカルセンターにてがん県民公開セミナーを開催いたしました。

こちらは県民みなさまへの普及啓発を目的に毎年開催しているがんに関する公開講座です。今年もお天気の悪い中、たくさんの方にお集まりいただき、会場は満員。がんに関する関心の高さが伺えました。

今年のテーマは「血液のがん～リンパ腫、骨肉腫、小児白血病」について。血液がんの成り立ちや治療法の進歩をわかりやすく3人の先生がお話してくださいました。知っているようで意外と知られていない血液のがんとあって、皆さん興味深く、真剣に聞いておられました。これをきっかけにがんのことやご自身の身体のことをもっと身近に感じていただけたら、幸いです。足元の悪いなかお集まりいただいた皆さま、ありがとうございました。



非常勤職員の募集

- ・職 種：看護師
- ・募集人員：10名程度
- ・雇用期間：～平成30年3月31日
契約更新有り(条件有り)
- ・業務内容：外来診療、病棟診療の看護業務、診察の補助、医師の指示による採血や注射点滴等の業務、患者さんの状況把握等。
- ・資 格：看護師免許
- ・賃 金：時給1,133円～1,583円 他に賞与有り(院内保育所利用可)
- ・勤務時間：9:00～16:00または8:30～15:30
(原則として、この中で週29時間勤務)
勤務日・時間等は相談して決めます。
29時間以内をご希望の方もご相談ください。
進学や介護などにより、月に数日だけ夜勤希望の方も受け付けます。
夜勤の場合の賃金・勤務時間については、別途協議いたします。

- ・職 種：医師事務作業補助者
(特別医療クラーク)
- ・募集人員：5名程度
- ・雇用期間：採用から平成30年3月31日
契約更新有り(条件有り)
- ・業務内容：電子カルテ代行入力、診断書、サマリー等文書作成、各種統計資料整理・作成
- ・必要経験：医事業務の経験等があることが望ましいが、未経験者でも可能
- ・賃 金：時給1,155円、他に賞与有り(院内保育所利用可)
- ・勤務時間：原則8:30～17:15の間で
1日6～8時間(週29時間勤務)

多くの女性スタッフが活躍中！
仕事と家庭の両立もサポート。

ご連絡先：事務局総務課 鈴木
☎0296-77-1121(内線2741)

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>